

こんな時こそ

福祉・くらしを守る吹田を

原油物価値上げ・学校耐震補強・市民会館存続・「なれあい人事」等の問題

日本共産党

9月定例会市議会は代表質問に倉沢さとし議員が、個人質問にそろり邦雄議員、村口はじめ議員、玉井みき子議員が質問にたち、住民要求をとりあげ質問しました。共産党議員団は、原油・物価高騰の影響について調査を行い、その対策について阪口市長に緊急の申し入れを行いました。

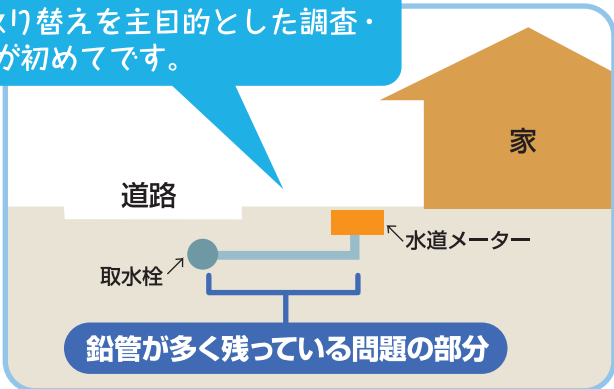


阪口市長に対して5項目の緊急対策を申し入れ。その結果、吹田市は、実態調査をすることになりました。



市内でまだ28000軒に、体に有害な水道の鉛管が使われており、くり返しその解消を要求してきました。

10月から吹東町の約1000軒に調査に入り、市の負担で約600軒の取り替え工事を行います。取り替えを主目的とした調査・工事は今回が初めてです。



「後期高齢者医療制度反対」など医療崩壊を食い止める共同の取り組みが進みました。9月には医師会、薬剤師会、歯科医師会の主催で、社会保障費2200億円連続削減に反対する「緊急集会」が開催され、共産党議員団も参加しました。(写真は医師会との懇談)

市民の安全、くらしを守るのが自治体の仕事です



市民会館の代替新築を要求

Is値(構造耐震指標)が0.3未満なので直ちに新規申し込み禁止となった市民会館。来春には完全閉鎖、取り壊されます。

日本共産党は、休館中の代替施設を、新築の計画を、と要求しました。



学校の耐震強度不足は急いで改修を

日本共産党は、学校は子どもたちの生活施設であり、緊急避難場所でもあるので計画的に急いで、耐震補強工事をするよう質問しました。吹田市は基準以下の校舎は2011年までに、屋内運動場については2010年度までに耐震補強工事を実施することを明らかにしています。

つぎつぎ不透明人事

現職の財務幹部トップの職員が市政チェックの監査委員に

よこすべり人事は同意できない

市議会の同意人事として監査委員の選任が提案されました。前任者は、続ける意思があるのに突然、辞任させられたこと。提案された候補者の経歴が財務部長、政策推進総括監、政策財務総括監など、財務の総責任者であったのに、チェックする側に横滑りする人事が提案されました。日本共産党は、

なれあい監査を生む、として反対しました。

阪口市長になってからトップダウンの体制が強化され、部長の上に総括監、政策審議監など議会の承認なしの役職がつぎつぎと作られました。行政の私物化につながるものとして議会で厳しく改善をもとめました。